

6月の生活目標 えいせいに気をつけよう!

日	曜	平成 23年6月 行事 予定	給食
1	水	耳鼻科検診(1・3年) SG(PTA) 校内研	○
2	木	眼科検診(1・2年) ALT(1・4年)	○
3	金	代休	
4	土	県P連総会(高知会館)	
5	日		
6	月	英語活動 開かれた学校推進委員会 交通指導	○
7	火	体力テスト(2・3)	○
8	水	4年社会科見学 SG(民生) 校内研	○
9	木	ALT(C)2・3年 ファミリー音朝 交通指導(C班) プール掃除⑤⑥	○
10	金	読(ボ・中) 歯科検診 ふれあいタイム 交通指導(民生委)	○
11	土	道徳参観日・PTA 学級対抗綱引き大会・5・6年学年懇	弁当
12	日		
13	月	代休	
14	火	3年総合学習(かわらっこ)	○
15	水	県中職場体験(中2 3人)~16日 SG(区長) 職員会	○
16	木	こども演劇祭(文化C) 音朝	○
17	金	委員会	○
18	土		
19	日	PTAと教育行政との意見交換会(13:20)	
20	月	英語活動	○
21	火		○
22	水	SG(教員) 校内研	○
23	木	ファミ音朝	○
24	金	新教育課程拠点校研究発表会(中村小学校)	○
25	土		
26	日		
27	月	ALT(C)1・4年 英語活動	○
28	火		○
29	水	ファミ最後の一羽 代表委員会 SG(教員) 校内研	○
30	木	ファミ音朝	○

春の大運動会に挑戦、がんばったね!

5月29日(日) 予定の運動会は台風のため31日(火)に延期となりましたが、よい天気にも恵まれ運動会ができたことをうれしく思います。また平日にもかかわらず、たくさんの方がおいでくださり温かい声援をいただくことで子どもたちは意欲的に頑張ることができました。心からお礼と感謝を申し上げます。

今年の運動会は校舎改築のため5月に変更しましたが、梅雨入りや台風の影響で校庭での練習はほとんどできていない状況で心配しました。しかし行進や開会式の校歌、1年生のこぼ、選手宣誓、ラジオ体操、閉会式の児童会長のこぼもとても立派でした。また各競技やダンスも整然としたなか、全力で頑張る姿がありました。5・6年生の組み体操は、渾身の力をふりしぼり最後のピラミッドやタワーも見事にきめ、88名の心ひとつになった雄姿が校庭に美しく輝き、短期間で完成させた5・6年生のパワーに驚きと感動があり、ひときわ大きな拍手を頂きました。係活動でもそれぞれの係が大変良く活動し競技の流れがスムーズで整然としていました。紅白の応援合戦は気合いが入り闘志溢れるもので、控え席の児童と一体となった応援は大変盛り上がり見事でした。

新しい学期がスタートして2ヶ月足らずの5月は担任とクラスの子もたちが学級づくりをしていく時期です。その時期に9月と同じような大運動会をつくりあげたことが素晴らしかったです。みんなの全力での競技や係活動、組体操、応援などに挑戦する姿に驚かされました。

終りになりましたが、保護者、PTAの方々には最後の片づけや体育部の駐車場の係などご協力をいただき助かりました。また駐車場を提供してくださいました中村中学校、高知JTに厚くお礼申し上げます。

7月24日以後、玄関・南校舎解体の予定

昭和41年8月、現在の校舎の工事が始まって以来、45年間の長きにわたり、歴史と伝統のある光り輝く学び舎として、多くの人材を育ててきた中村小学校の玄関・南校舎を7月24日(日)の引っ越し以後、取り壊す予定になっています。この校舎で学んだ卒業生や地域の人たちにとっては、思い出がいっぱい詰まった校舎です。カメラで撮影したい方や一度見学したい方などおられると思います。

いつでも結構ですので学校の方へおいで下さりご自由に撮影をして下さい。なお、校舎内については土・日を除く9時から16時30分の職員の勤務する時間をお願いします。なお過去の卒業記念制作物など必要な方は学校までご連絡下さるようお願いいたします。



子どもの発達課題を大切に

人間の成長にはそれぞれの成長期に発達課題があり、それを乗り越えることによって成長していくというエリクソンの理論です。簡単に要点だけ書きますので参考にしてください。

乳児期(0歳から1歳、ポイント 愛情を十分かけて育てる) 子どもにとってすべて受け身で、心休まるような優しい愛情をかけられた子は周りの大人は自分にとって快いものとして受け入れ、情緒が安定して心の安らぎや自分の居場所などを獲得するようです。これを安定根と言い、子どもの将来の土台をつくる時期です。

幼児期前期(1歳から3歳前後、ポイント しつけの時期で、誉めて手をたたいて育てる) 食べる、パンツをはく、シャツを着る、ウンチができるなど、誉めて手をたたいて、初めて出来た喜びと自信を育てる時期です。「泣くな。何々をしたらだめ」と言って自信をつぶす子育てはいけないのです。

幼児期後期(3歳から6歳、ポイント やってごらんの時期) 保育所の頃で、物事に興味や関心があり活動的で、お母さんが何かしようかという、「いや、自分です」と言う。集団遊びの中でいじめられたり泣かされたり失敗の体験や成功の体験の適度なバランスが大切です。親が何でも先回りしてやるのが一番いけません。

学童期(7歳から10歳、ポイント やったら出来る気持ちを育てる) 「できた、わかった、やったあ」自分でもやれば出来るという有能感をもたせることが大切です。やる気、興味関心を出来るだけ伸ばしてやることです。低学年の友達関係は近所であるとか席が隣であるとか親が知り合いとかですが、高学年になると性格が合うとか固定的になって変動がなくなる。生活や自然への体験が大切で友だちと群れて遊ぶことで生涯にわたってやる気の基礎を育てます。

思春期(11歳から17歳、ポイント 同行二人の関係が大切) 体の変化が現れ、笑っているかと思うと腹を立て親に反抗したり感情の変化が激しくなる人生の嵐の時期です。心理学者の河合隼雄さんは「サナギの時期」と言って表面的には無口であるが内面ではすごく葛藤して昆虫のサナギに似ていると言います。内面で活発にホルモンが働き、やがて脱皮してチョウ(成虫)となって飛んでいきます。今まで親とか先生とか縦の関係を大切にしてきましたが、友だちの方を大切にすることがになります。子どもが勉強している間は、親もテレビを消して子どもと一緒に頑張ろうとする同行二人の関係が大切です。

お知らせとお願い

- 過日PTA専門部会、第1回PTA役員会が夜間開催され体育部、市民祭部、事業部、広報部、文化部、地区部の6部会の1年間の活動計画が話し合われました。PTA執行部、各部の役員、学級委員の方々には大変お世話掛けますが1年間よろしくお願ひします。
- 5月1日から図書支援員として武田由紀さん、17日から児童生徒支援として講師の増田裕恵さん(5・6年の家庭科、児童支援)が勤務してくれていますのでご紹介しておきます。教職員は26名です。